

平成30年度 第1回伊勢原市地域公共交通協議会 会議録

- 〔事務局〕 都市部都市政策課
- 〔開催日時〕 平成30年7月10日（火） 午前10時から11時まで
- 〔開催場所〕 伊勢原市役所本庁舎3階 全員協議会室
- 〔出席者〕
- （委員） 藤井会長、武山副会長、小堤委員、小池委員、宮本委員、
小川委員、飯田委員、宮川委員、菊本委員
- （代理出席） 福田委員（代理：石田委員）、齋藤委員（代理：露木委員）、
立山委員（代理：土井委員）、岩田委員（代理：水川委員）、
仁藤委員（代理：溝呂木委員）、目黒委員（代理：市川委員）、
小松委員（代理：高橋委員）
（後藤委員、藤田委員、星名委員は欠席）
- （事務局） 重田都市部長、飯田参事兼課長、佐野主幹兼係長、脇坂主事
- 〔公開の可否〕 公開
- 〔傍聴者〕 1名

《会議経過》

- 1 開 会
- 2 あいさつ（藤井会長、武山副会長）
- 3 委員紹介
- 4 地域公共交通協議会設置規則について
- 5 議 題
（1）平成30年度事業計画（案）について
- 6 その他
- 7 閉 会

《 議 事 》

会 長 それでは、次第に従い、議事を進めます。本日の議題は、

(1) 平成30年度事業計画（案）について

1点となっています。

事務局から内容の説明を行い、その後、委員の皆様の御意見等をお聴きしていきたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

それでは、

議題の(1)平成30年度事業計画（案）について

事務局から説明をお願いします。

事 務 局 【説 明】

会 長 ありがとうございます。

伊勢原市は、コンパクトな市街地が形成されている中で、公共交通ネットワークがきめ細やかに配置されています。

その中でも、公共交通空白地区となっている地域の課題も含めて、地域公共交通網形成計画が今年の4月に作成されています。

これから、当該計画を実施していくに当たっては、時間経過がかかる事業があれば、今すぐできる取組もあるため、5年間の事業計画の中で、できることから展開していくことが第一歩だと考えています。

今回、計画の1年目ということで、既存の充実した公共交通ネットワークを更に利用しやすくしていくため、ソフト面の案を中心に御説明頂きました。

これに関しては、各公共交通事業者で取り組まれている様々な事例や、また、他市の事例も含めて、伊勢原市に適したかたちで事業計画の具体化を進めていきたいと考えています。

今回は、主に利用促進に向けてという方向性の中で、皆様から御質問や御意見を頂きたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員 今日資料の中で6点確認させて頂きたいと思います。

1点目は、今年度の施策ということで、地域公共交通網形成計画の施策の1、4、5、6を御紹介頂きましたが、施策の2、3、7について、今年度の取組があるのか、ないのであればいつ頃を予定しているのかを教えてください。

2点目は、施策1の伊勢原駅北口駅前広場のバスターミナル機能の向上について、公共交通事業者と協議をしているところですが、施設管理者である伊勢原市の安全対策に対する考え方を教えてください。

3点目は、秦野市で、昨年、大山と鶴巻温泉駅間のバス実証運行を実施し、今年度も事業の検討を進めていますが、隣接自治体との連携については、どのように考えていますか。

4点目は、施策4の誰もが利用しやすい交通環境の整備のノンステップバスについて、国の定める指針で事業者全体のバス在籍車両の70%をノンステップバスにすることが示されているため、2千台ある中で、年間2百台から3百台ずつ替えていく方針で進めています。

その中で、伊勢原営業所での70%の到達について、市としての考えを教えてください。

5点目は、地域公共交通網形成計画の評価指標について、進行管理の中でどのように扱っていくのかを教えてください。

6点目は、

バスの乗り方教室について、市内の何校の小学校をどのくらいの期間をかけて実施していく予定なのか教えてください。

事務局 1点目は、今年度、主に利用促進の取組などの施策の1、4、5、6を中心に進めていきます。施策の2、3、7は、今年度以降、計画期間5年間の中で取組方を整理していきたいと考えています。

2点目は、都市計画道路伊勢原駅前線の先行取得用地の活用方策として、暫定バスターミナル機能を配置する上で、整備を担当する部署において、公共交通事業者との協議を進めていく中で、道路管理者等と交通安全対策に関する調整を進めていくと聞いています。

3点目は、隣接自治体との連携について、可能な限り、隣接自治体と意見交換をしながら、伊勢原市の持続可能な公共交通ネットワークに向けて、積極的な連携に努めていきたいと考えています。

鶴巻温泉駅の取組については、市の観光部署が窓口となって、対応させて頂いておりますので、庁内の関係部署との情報共有を図っていきます。

4点目は、伊勢原営業所でのノンステップバス保有台数70%の考え方について、これまでノンステップバス導入支援は、国の指針に基づいて、事業者の保有台数70%を目標として国との協調補助を実施しています。今後も国の方針を踏まえ、その成果を検証しながら、ノンステップバスの導入を支援していきたいと考えています。

5点目は、地域公共交通網形成計画の評価指標について、実施施策を総合的に進めていくことによって、目標値が達成できるよう計画を作成しています。今後、5年間の計画期間の中で、年度毎のPDCAサイクルにより、どのような取組がどの評価指標に影響してきたか、しっかり見極めながら、取り組んでいきたいと考えています。

6点目は、バスの乗り方教室について、今年度、市内小学校3校で実施を予定しています。今後、5箇年の中で公共交通事業者の御協力を頂きながら、できる限り市内小学校全校の10校で実施していきたいと考えています。

委員 施策の2、3、7については、5年間の中で対応したいということですが、委員の任期もありますので、どの施策をどのくらいでやりたいか、ぼんやりでも構いませんので、次回の会議で示して頂きたいと思います。

また、ノンステップバスについては、参考として伊勢原営業所のノンステップバス導入率の推移について、示して頂きたいと思います。

事務局 委員の御意見を参考に、今後、取組を進めていきたいと思います。

会長 例えば、施策7については、いろいろな自治体で地域公共交通網形成計画が進められていますので、随時、取り組んで頂きたいと思います。

評価指標については、数値が上がって実際に公共交通の利便性に繋がっているのか、その整理が難しいため、他自治体において、評価指標の見直しが必要な事例もあります。

その中では、しっかり他自治体の情報を含めながら展開し、PDCAサイクルが常に繰り返していくイメージを持って頂きたいと思います。

5年間の取組を次の5年間でどのような目標を掲げて繋げていくのか、しっかりと把握し、その方向付けが施策7と関連してくるものだと思います。

また、施策2、3については、公共交通事業者と市が協議しながら、公共交通事業者として今年度、或いは次年度に地域公共交通網形成計画の事業と組み合わせながら、それが事業計画とどのようにマッチングしていくのか御議論頂いた中で、当該協議会で反映していくアプローチをとって頂きたいと思います。

ノンステップバスの導入率については、同一バス事業者であっても自治体間で導入率に差がある事例があります。公共交通事業者において、営業所間でバス車両をローテーションしていくことも必要になってくるかもしれませんが、或いは、自治体の中での運用を推進していくことの両方が必要になってくるかもしれませんので、市民が実感できる取組に繋がられるよう整理する必要があると思います。

会長 他にご質問等ございますでしょうか。

委員 1点目は、施策4のノンステップバスについて、スロープ板が円滑に活用できるバス停の整備が必要になるので御配慮頂きたいと思います。

また、スロープ板の操作は、バス乗務員が行いますが、操作に時間がかかりますので、利用者に御理解頂けるよう、心のバリアフリーの周知が必要ではないかと思えます。

2点目は、施策6の情報発信について、ターゲットを絞った広報が必要であると思えます。例えば、高齢者の事故が増加している中で、免許返納者への時刻表配布など、そういった取組により、免許返納者の増加も期待できると考えています。

事務局 1点目は、ノンステップバスのスロープに対応したバス停について、すぐにハード面での整備は難しいですが、今後の社会情勢の変化を踏まえると、必要な考え方だと思えます。

関連して、心のバリアフリーについては、情報発信の中でも取り込める内容であると思えますので、利用促進を通じて、公共交通への理解を周知していきたいと考えています。

2点目は、ターゲットを絞った情報発信について、様々な機会を通じて、多くの方に広報紙を見て頂く必要があると考えていますので、そうした免許返納者等にも十分に情報が届くように考えていきたいと思えます。

会長 近年、パスモやスイカにより定時運行が確保されてきました。

そういった中で、車いすの方の乗降時間が気になるという意見を聞いたことがあります。

伊勢原市だけの問題ではなく、車いすのバス利用者が安心・安全に利用できるよう、意識の啓発事業などで取り組んで頂きたいと思えます。

また、バスの情報案内では、バスマップが他自治体でよく作成され、良い取り組みだと思えますが、高齢者には分かりづらいため、地域別マップを作成することも考えられます。

そういったニーズがコンパクトな伊勢原市にあるのか、地域の声を聞いて、利用しやすい仕組みを検討して頂きたいと思えます。

他にご質問等ございますでしょうか。

ご意見等ないようですので、ここで質疑を終了にしたいと思えます。

今年度、ソフト的な仕組みや意識啓発に繋がる下地づくりをしていく方向性で、事業がどのように展開され、どのように今後の取組に繋がっていくのか、来月の2月予定の協議会の中で、報告して頂きたいと思います。そして、その取組を発展させていくのかどうか等について、当該協議会で委員皆様の御意見を頂きたいと思います。

それでは、この方向性で進めていくことでよろしいでしょうか。

全会一致 【意義なし】

会長 ありがとうございます。

それでは、その他としまして、事務局から何かありますか。

事務局 【特になし】

会長 その他、特にないようでしたら、進行を事務局へお返ししたいと思います。皆様の御協力で議事進行を円滑に進めることができました。ありがとうございました。

閉会（重田都市部長あいさつ）